

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000048
法人名	株式会社 小園
事業所名	グループホーム すもも
所在地	鹿児島県指宿市東方2337番地9 (電話) 0993 - 25 - 6001
自己評価作成日	平成29年3月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www kaigokouhyou jp/kaigosip/Top do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広い敷地で自然に囲まれた環境（すもも・レモン・梅・金柑の木があり、鶏が日中は放し飼いになっている。）の中で、利用者が穏やかで笑顔のある毎日を送れるようにしている。
自尊心を傷つけないように配慮すること、プライバシーを守るなど基本的なことを中心に支援している。
地域のボランティアの方が定期的に訪問してくださり、歌や踊り、三味線等演奏してくださり、利用者と交流を深めている。また今年度より保育園との交流も行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当事業所は隣接してデイケアがあり、災害時等の連携が取れている。広い敷地は果樹や菜園があり、鶏にエサをあげたりして利用者の笑顔を見ることができる。
- 「結の心」を職員は意識して、利用者が地域の中でその人らしく、精一杯生きることを支援している。
- 地域との交流を大切にしている。自治会に加入して回覧板の情報や地域の行事の運動会に参加したり、夏祭には子供たちが、笛や太鼓をたたいて、訪問したり、保育園児との踊りや歌・魚つりゲーム等、交流を深めている。消防団員も日常立ち寄って、声かけがあったり、近隣から野菜の差し入れもあり、地域住民の認知症相談も受け入れ、日常的に交流している。
- 管理者は職員の育成に力を入れ、職員の要望や意見・提案を受容している。資格取得にも協力し、働きやすい環境を整えている。
- 食事は旬の食材を使い1週間毎にメニューを決めている。食前に献立の説明をして、美味しいいただけるように配慮している。敬老会には散し寿司等の行事食やクリスマス・誕生会は手づくりケーキで喜ばれている。さつま揚げやお好み焼きなどを利用者と職員が一緒に手作りしたり、自家菜園の野菜や梅・金柑・レモンなどで保存食を作っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者及び職員全員で理念を確認し、実践につなげている。	開設時に作成した、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念があり、玄関や事務室に掲示している。目視確認や振り返りを行い、職員全員で共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事にはできる限り参加している。また地域のボランティアの訪問も定期的にある。また、地域で農業をされている方から、ソラマメ、おくら、枝豆、大根、キャベツ等のおすそ分けを頂くことが多い。	自治会に加入している。回覧板で情報を得たり、地域行事の運動会に参加したり、夏祭りには子供たちがホームに立ち寄り太鼓や歌を披露している。地域ボランティアの訪問や保育園児の交流もある。近隣から野菜の差し入れも多くあり、地域住民の認知症相談も受け入れ、日常的に交流している。地域の運動会は施設の運動場を使用している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方からの相談等あれば、必ず受け入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、利用者の家族、民生委員、市役所職員の参加があり、さまざまな見地からの意見を聞き、サービスの向上に努めている。	会議は定期的に開催している。入居者の状況や行事報告・ヒヤリハット・外部評価報告等を行い、参加者から感染症対策などの提起があり、意見交換している。災害対策に関して、マニュアルの見直しの助言や意見が出され、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	定期的に市役所に出向いたり、電話したりして相談を行ったり、アドバイスを頂いたりしている。	市担当者とは書類提出時に窓口で話したり電話で状況報告や相談を行いアドバイスを受けている。運営推進会議に参加してもらい情報を得ている。行政主催の研修会には積極的に参加し、日頃から協力関係を結んでいく。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	開設当初より「身体拘束ゼロ」の取り組みを行っている。利用者の身体機能の向上に努め、身体拘束をしない環境作りに取り組んでいる。	マニュアルを基に職員会議で話し合ったり、外部研修に参加している。権利擁護や言葉での拘束も含め、慣れによる言葉づかいにも気をつけている。昼間は玄関の施錠はしていない。外出傾向のある利用者には、一緒に庭の草花を摘んだり、鶴を見たりして落ち着くまで寄り添い、自由な暮らしをさりげなく支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体的虐待ばかりでなく、暴言、脅し、無視、放置といった心理的虐待、介護の放棄といった内容の理解も深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	生活保護や成年後見制度のしくみについて、職員会議等で学ぶ機会を作っていないが、外部の研修の場に、積極的に参加している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に、御家族を中心に重要事項の説明を行い、確認をいただいてから契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議で利用者や家族が交代で参加できるようにし、意見をお聞きし、運営に反映させている。	利用者からは日頃の関わりの中で思いを聞いている。家族からは面会時や家族会・運営推進会議の時、気軽に意見や要望を出してもらえるよう心がけている。出された意見や要望は職員会議などで話し合い、運営に反映できるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者はや管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月職員会議を行い、問題点や要望を職員から聞きだすよう努めている。</p>	<p>日常の関わりの中や職員会議・申し送りなどで職員の意見や要望を聞くようにしている。個別面談では研修参加や資格取得・勤務関係などの意見や提案が出され、意見は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>給与水準や労働環境等問題点があれば、改善に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修は、毎月の職員会議で確認したり、新任は仕事を覚えるまで研修を受けている。また外部の研修にも積極的に参加して、ケアの向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>指宿地区グループホーム連絡協議会やさつま半島支部グループホーム連絡協議会に参加し、同じグループホーム同士での情報交換に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に至るまでに、御本人と直接面会したり、御家族を話し合う時間を設け、安心して暮らしていくよう支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にできる限りお話ししていくようにし、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前にはご家族の要望、意見を把握して、施設で対応できるかどうか検討し、対応が難しい場合には、包括支援センターや居宅支援事業所等に相談している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者という感覚ではなく、一緒に生活していく家族の一人と考え支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人と家族の絆を大切に考えながら、家族と共にご本人を支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所の関係は入所後も、大切にしている。	入居時に本人や家族から把握している。その後も家族と連携をとり、馴染みの関係を把握している。友人の訪問があった時はゆっくりしてもらっている。家の周辺をドライブすることもある。美容師は訪問してもらい、墓参りは家族が同行して馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりの個性に合わせて共同生活を楽しめるように、昼間はできるだけ居室での生活を避けて、ホールでの生活を心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病気などで入院しその後退去になったときでも、関係を断ち切らないよう面会をしたり、ご家族に電話をしたりして相談等に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりの思いや希望を把握して希望に添えるように支援している。</p>	<p>編み物がしたい・家に帰りたい・弟に会いたい・～が食べたい・好きなテレビを見たい等、多彩である。医療機関引率の時や入浴中などじっくり傾聴している。本人や家族・関係者からの情報は全職員が共有し意向や希望に添えるようにしている。意思疎通が困難な場合は様子や表情で細目に観察して把握している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活歴などはご家族及び本人から十分に聞き取りして支援の中で生かしていくように努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>入居者全員の健康状態は十分注視して対応しており、その人に合った1日の過ごし方と残存機能を活かしてのケアに取り組んでいる。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ゆったりとした生活が送れるよう個人が満足して生活できるように、ご本人や御家族と話し合い検討して、介護計画を作成している。</p>	<p>本人や家族の意向を聞いて、主治医の意見を参考に職員で話し合いを行い介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に、現状に変化があった時はその都度見直しをして現状に即した介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	毎日の記録を充実したものにして情報を共有してケアの中で活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	毎日の状況には取り組んで対応できている。ご家族の意向・要望に応えられるよう、できる限り対応している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	利用者が心身の力を発揮できるよう、必要最小限の身体介護、目配り等を行い、地域のボランティア、家族の協力をいただいているが、十分とはいえない。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入居前からのかかりつけ医を尊重している。特にかかりつけ医がない利用者には協力医と連携して定期的に受診できるようにしている。	かかりつけ医は本人や家族の希望する医療機関である。2週間に1回の往診がある。協力医療機関の定期健診が1ヶ月に1回ある。歯科は職員で対応し、他科受診は職員が同行しているが家族の協力もある。受診結果は電話で家族に報告している。本人や家族が望む医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の健康状態を看護師が把握して他の職員にも報告して適切な処置対応ができている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者とそのご家族が安心して治療できるように見舞いに行ったりしてその状況も報告しあったり、病院職員とも関係作りを心がけている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合は、かかりつけ医や協力医と連携を図り対応している。	入居時に重度化や終末期に伴う看取りの方針を説明して方針の共有を図っている。本人や家族に、事業所でできることできないことを説明して同意を得ている。看取りはしていない。症状が重度化したら、かかりつけ医と段階的に話し合いを重ね家族の意向を確認して、支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に備えての対応は定期的なケア会議や訓練などで、全職員が実践力する力を身につけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の防犯組合との連絡体制もできており、地震や火災時の準備はできている。風水害のマニュアルも定期的に見直して充実を図っている。	消防署立ち合いのもと年2回夜間想定で火災避難訓練を行い、避難経路・避難場所・避難誘導の点検や確認をしている。自動火災装置やスプリンクラーの設置がある。隣接するディケアや地域の防犯組合との連絡体制がとれており、日常も消防署員が通りがけに車を止めて声かけがある。風水害、地震のマニュアルも作成して定期的に見直している。災害時の水やカップ麺・缶づめ・ガスコンロ等、用意している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりのプライバシー・人格を尊重しながら言葉掛けや認知症ケアに取り組んでいる。</p>	<p>「個人情報保護方針」を玄関や事務所に掲げている。マニュアルを作成して、日頃から人格の尊重とプライバシーの確保に取り組んでいる。年長者として敬意を払った支援を行っている。居室入り口に名前を出している。名前の呼び方はさんづけで呼び、トイレ誘導時のさりげないケア・入室時のノック・更衣時の配慮・入浴介助等、気配りをしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者の思いや希望については自由に話せるよう、職員はコミュニケーションを欠かさないよう心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者個人の要望をよく聞き、その方のペースで生活できるよう取り組んでいる。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>その人らしい身だしなみやおしゃれが楽しめるように普段から心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を行い、好みの食事が出せるよう献立に組み込んでいる。また行事食を提供し、四季折々の季節感のある食事が楽しめるように食事を提供している。	旬の食材を使い1週間毎にメニューを決めている。食前に献立の説明をして、美味しいただけるように配慮している。敬老会には散し寿司等の行事食やクリスマス・誕生会は手づくりケーキで喜ばれている。個々の力量に応じて下ごしらえやテーブル拭き等を職員と一緒に行っている。さつま揚げやお好み焼きなどを利用者と職員が一緒に手作りしたり、自家菜園の野菜や梅・金柑・レモンなどで保存食を作っている。嗜好調査を行い、食べやすい形態にも配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や栄養面に関しては職員全員で検討しながら献立を作成している。一人で食べることが困難な方への食事介助をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に全員の口腔ケアを実施して、本人の能力に合ったケアを実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄に関しては定時にトイレ誘導して、できる限りおむつやリハビリパンツを使わないことを目標にして排泄確認表をもとに自立に向けたケアに取り組んでいる。	排泄チェック表を活用して、個々のパターンを把握し、トイレ誘導をしている。食事の前に声かけしたり状況に合わせた誘導をしている。失禁があった時は人目につかないよう、さりげなく対応している。リハビリパンツやパットの使用をしながら、排泄確認表を基にできる限り布パンツを使用し、トイレでの排泄の自立に向けた支援をしている。改善された事例があり、排泄用品の軽減ができるている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝夕の申し送り事項として、排泄チェック表を元に排泄状況を確認し合って、個々に応じた対応を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	施設内の温泉入浴を楽しめるように、週3回入浴を実施している。	週3回の温泉での入浴であるが、本人の希望で曜日や順番・入浴時間など柔軟に対応している。身体観察や湯温度・水分補給に気配りしている。入浴したがらない時は順番や介助者を変えたり、体調を見て声かけの工夫を行い、心地よい入浴を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の睡眠が大切ということは、職員は理解しており、気持ちよく睡眠が取れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者全員の薬の服用については職員全員が理解できており、副作用についても必ず薬説明書を見て理解している。誤薬のないように名前を記入し確認してから服用していただいている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を活かし、毎日の生活を楽しめるように支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している。	希望に沿って外出などはできるよう支援している。外出の日には遠出できるようにし、御家族が来てくださるときは御家族と出かけられることもある。	その日の希望に沿って日に1~2回は外出するようにしている。広い敷地内での鶏の世話や果樹の収穫・花を摘んだり・外気浴・散歩等で、戸外に出かける支援をしている。花見や運動会・ミニドライブ等、地域の行事に出かけて踊ったり、歌ったりして外出を楽しんでいる。家族の協力で、そうめん流し等に出かけることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことの大切さは理解出来ているが、所持するとなると理解できない利用者が多い。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	御家族からの電話があった場合は、取り次いでいる。家族へ電話をしたい場合は、家族へ職員が電話し繋ぐように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間では、季節感や生活感を取り入れて居心地のよい居住空間になるよう心掛けている。	天井が高く天窓もあり明るい。加湿機や空気清浄器が置かれ、温度・湿度の空調管理が整っている。台所は対面式で動きが見える。ソファーが置かれ畳部屋やウッドデッキがある。棚には人形が飾られ壁面は華やかに写真や貼り絵で彩られ季節感があり、利用者はテレビを見たり、音楽を聴いたり、ゆったりとして居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ウッドデッキや畳の部屋を使用して利用者同士で話しをされたり、歌を歌われたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、御本人や御家族と相談し、話し合いながら、居心地良く生活できるように工夫している。	居室はベッドやエアコン・整理タンス・ロッカーが設置されている。時計や家族写真・ぬいぐるみ・衣装ケース・寝具・テレビ・自作の作品、小物、化粧品等の使い慣れたものを持ち込み、仏壇や位牌もあり、新聞や書籍もあり、家族と話し合いながら、心地よく過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者一人ひとりのできることやわかることを把握し、安全に移動ができ、安心した生活を楽しめるよう工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全部面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	2 数日に 1 回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない